（別添資料１）

事業所名　らいおんハートからだの児童デイサービス

支援プログラム（参考様式）

作成日　7 年　3 月　12 日

法人（事業所）理念		障がいの壁を乗り越えた社会づくりのために、できることから少しずつ。 障がいを持っている方もそうでない方も、ひとつの社会となることが当たり前の世の中へ。 一人ひとりのかけがえのない平等で大切な命のための支援事業です。		
支援方針		重症心身障害児（重心児）の発達支援・生活支援を目的とし、個々の能力やニーズに応じた支援を提供します。看護師を配置し、医療的ケアが必要なお子様に安全で安心できる環境を整えます。子供たちの興味・関心を大切にし、一人ひとりが楽しく充実した時間を過ごせるよう支援を行い、成長や自己表現につなげる機会を提供します。さらに、一人ひとりの発する表情やしぐさの変化に敏感に気付き、体調の変化をいち早く察知できるよう努めます。日々の健康状態を細かく観察し、わずかな違和感も見逃さず、安心できる支援を提供します。		
営業時間		9　時　0　分から　18　時　0　分まで	送迎実施の有無	あり。２人体制にて実施します。 医療的ケア児は看護師の配置を行い送迎を行います。
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	ご利用日にお子様の体調確認を行わせて頂きます。事業所に到着後バイタルサインを測定し、日々の体調に合わせた活動を行います。 活動は年間行事活動計画、個別支援計画に基づき支援をします。 医療的ケアが必要なお子様は、医師による指示書に基づいた医療的ケアを実施します（痰の吸引、胃ろう、経鼻経管栄養、投薬、呼吸器管理など） 朝の会や、昼食時間、活動の時間、おやつの時間、帰りの会などを行い生活リズムを整えていきます。		
	運動・感覚	活動の中で職員と一緒に手遊び、ダンスを実施し、無理なく楽しく体を動かせる環境を作ります。 機能訓練士による個別訓練（関節の拘縮予防、筋力の維持・強化、動作の習得）を実施します。お子様の身体的特性に合わせて補助具を使用した制作活動、パラバルーンによる視覚刺激、感覚遊びでの触覚刺激を活動に取り入れていきます。法人の実施するオンラインダンスに参加し、できる範囲で体を動かしながら他事業所との交流を持ちます。		
	認知・行動	視覚、触覚、聴覚、体の感覚を十分活用し、嬉しさ、楽しさを表出できるような支援をします。 今日のお天気、絵本の読み聞かせ、体操などの活動を通し、興味のある活動や楽しくできる活動を増やして行きます。 唾液や痰で苦しくなってしまった時には、医療処置と共にスタッフの声掛けで排痰や深呼吸を促すなど、お子様の自発的な行動ができるような声掛けを行います。		
	言語 コミュニケーション	一人ひとりのもつ表出（表情、発声、発語、頷く、手で合図をする、体に力が入るなど）サインを大切にし、自己表出が身に着くような支援をします。お子様の表出をご家族、他に通う事業所、学校とも連携する事により、周囲からの理解が得られることで自己表現の楽しさを身につけます。活動ではマカトンサイン、手話、絵カードを状況に応じて使うことで意志の伝達が円滑にできるように支援します。		
	人間関係 社会性	事業所内だけではなく、公園やお買い物に出かけることで、事業所以外で安心できる場所を作ります。 公園でお友達の声を沢山聞いたりしながら、同じ空間で過ごす事に慣れるように支援します。 事業所をご利用されるお友達と同じ活動（集団活動）を行う事で、一緒に楽しみ、喜べる機会を経験します。		
家族支援		家庭内での困りごとに対するサポート （連絡ツールや音声通話、WEBミーティング、訪問、来所等） 年２回以上のモニタリング実施と共に参観日を設けます。 親子イベントを開催し、保護者同士の交流を設けます。	移行支援	必要に応じて進学進級時や卒業後の進路等についてご本人、ご家族への助言を行ないます。保護者の同意を得て、学校や卒業後の進路先との情報共有を行ないます。
地域支援・地域連携		見学希望者の随時受け入れ 地域支援（公園等）を介した地域児童及び保護者との交流	職員の質の向上	定期的な職員研修（年１２回）・新人職員向け研修 e-ラーニングシステム利用での業務マニュアル一元化や学習 各種委員会の設置
主な行事等		季節ごとの季節感を感じることができる行事（夏休みイベント、クリスマス会等） お誕生日会　月２回全体オンラインダンス療育 防災訓練（年2回）		